

議 事 録

- 1 会議名 平成27年度第3回さぬき市男女共同参画推進協議会
- 2 日 時 平成27年12月14日(月) 13:00～15:30
- 3 場 所 さぬき市役所301会議室
- 4 出席者 浅川委員 上原委員 柿木委員 亀井委員 木村委員
 小山委員 多田委員 筒井委員 南田委員 宮本委員
 (事務局) 白井課長 津村係長
- 5 傍聴者 0人
- 6 会議次第 1 開会
 2 会長あいさつ
 3 議事
 (1) 男女共同参画推進活動事業(デートDV防止啓発講演会、平成28年度男女共同参画パネル展)について
 (2) 女性が輝く地域づくり講演会(東讃会場)について
 (3) 市役所内推進組織の充実に関する本協議会からの提案について
 4 その他
 5 閉会
- 7 配布資料 資料1:平成27年度デートDV防止啓発講演会実績
 資料2:「男女共同参画社会」作品募集要項
 資料3:女性が輝く地域づくり事業講演会(東讃地域)開催要項
 資料4:第2次さぬき市男女共同参画プラン

8 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
事務局	<開会 13:00> ただ今から平成27年度第3回男女共同参画推進協議会を開催します。 会長からご挨拶いただいたあと、引き続き議事進行をお願いいたします。
会長	<挨拶> それでは 議題1の男女共同参画推進活動事業について事務局は報告をお願いします。
事務局	<報告>
会長	参加された方から感想をお聞きしたいと思います。
委員	長尾中学校ですが、当初予定していた講師の体調が急に悪くなったので、パートナーが講師となったようです。小児科医としての立場から話を進められて、生徒も一生

	懸命聞いてはいたが、少ししんどいような感じを受けました。しかし、この講演会を開いた意義は大きいと思います。
委員	私は、自分が関わっている会では、終始、聞くだけで終わらず、語り合う会に変えていきたいと思っている。話を聞いた後にどういうことを思ったのか、それをどのようにしていくのか、手だてはどうするのかを話し合えれば前に進むのではないかと 思っている。中学校では、背中しか見えない後ろに座らず、講演を聞きながら生徒の表情がどのように変わっていくかを見れるように横に座った。反応は様々だった。講師は、リズムや動作を交えて話していたので、子どもたちも理解はできていたと思うが、講師の話を6割、あとの4割の時間で、自分の生活を交えて話し合う時間を作ってほしかった。そうすれば、講演を活かした学校生活を作ることができると思った。
委員	みんなが知っている歌を交えた講演だったのだが、みんなで歌うということがなかった。それがあればもっと盛り上がったと思う。
委員	今、さぬき南中学校で使われた資料を配布させていただきましたが、話の展開にすごく工夫をされていた。子どもたちが、デートDVをしている場面とそうでない関係のカップルを寸劇で表現した。そうすることで、子どもたちが話の中にしっかりと入っていく要素となったと思います。1年団だけの参加だったが、携帯を勝手に見ることもその人の人権侵害にあたることだと分かった、というふうに、日ごろの行為を振り返って、気づきがあったように思います。デートDV防止の啓発講演会は、他の学校でもやっていくべきだと思います。
委員	子どもたちの表情を見ていると、感情がこもって、とても上手に演じていた。あの姿を見ると、デートDVは、意外と身近にある問題なのかな、と感じているように思えた。日々あるような場面だったので、考えるきっかけになったと思う。学校の授業を利用していたので、時間が短かったのが残念だった。
会長	志度中学校の参加はなかったんですね。
事務局	はい。委員のご都合もあって、協議会からの参加はありませんでした。現在、子育て支援課のほうで、子どもたちからの感想を取りまとめていますので、まとまりましたら報告させていただきます。それをもって、再度、事業内容を総括できればと思っています。志度中学校に関して言えば、県の女性課の課長が講師であり、話の内容はよかったと聞いています。
委員	3つの学校とも、保護者の参加が少なかったのが残念ですね。案内されたと思いますが。
委員	最近のテレビで、中学生や高校生くらいの女の子が、なんとなく好きだ、という理由で相手の男の子と性関係を持ってしまい、それではいけない、と、姉が注意したところ、その女の子は、そんなことなんかは聞かないわ、と言うシーンがあるドラマがある。子どもたちが見るような時間帯の番組ではなかったけれども、最近、また、メディアの中にこういった性的な問題がある番組が出てきたので要チェックだと思う。
会長	生徒の意見が出てきましたらまた報告をお願いします。続いて議題2 女性が輝く地域づくり講演会（東讃会場）について、事務局は説明をお願いします。

事務局	<説明>
会長	開催日が1月24日なので、年末年始も含むので集客はかなり難しいと思いますが、皆さん、声かけをお願いします。
委員	当日、協議会の委員が何かお手伝いすることはありますか。
事務局	今までは、朝からステージのセッティングなどまでお手伝いいただいていたのですが、今回は県の職員も来ますので大丈夫かと思えます。ただ、受付などで協力いただけるとありがたいと思っています。その場合、12時30分くらいに会場に来ていただくこととなりますが、ご協力いただける委員はいらっしゃるのでしょうか。
委員	大丈夫です。
事務局	ありがとうございます。まずは、参加いただける委員を把握させていただきたいので、お手数ですが申込をお願いします。チラシには6人書けるようになっていますが、名前と、さぬき市や三木町というふうに住んでいるまちの名前が分かればメモ書きの一覧でも結構ですので、事務局まで申込をお願いします。
会長	それでは、議題3の市役所内推進組織の充実に関する本協議会からの提案についてにうつります。
事務局	これは、委員からの提案によって、今回の議事となった項目です。資料4として、提案内容に関する第2次さぬき市男女共同参画プランの該当部分を添付していますので、後の説明などはよろしくをお願いします。
会長	協議会において、男女共同参画推進に関する専門の部署を設置してほしいとの意見が再三出てきていた。市長に口頭でお願いしたこともありましたが、まだ設置できていない。口頭というのが少し弱いのかな、という反省が出てきつつも、その先に進んでいないのが現状となっている。このたび、要望書の提出、という形をとったほうがいいのかという意見が委員の中から出てきたので議題とした。皆さんの意見を伺いたい。
委員	男女共同参画を進めていくためには拠点がいる。拠点がなければ、「男女共同参画が進めばいいな」との話し合いだけで終わるような気がする。あまり言っていると責めるようになるが、男女共同参画プランが始まったのは平成15年頃で、市ができて間なしだったと思う。それからずっと取り組んではきたが、段階を上げて進めていくためにはどうすればいいのかという段階に来ていると思う。今日は事務局の2人は置いて、協議会メンバーだけで、本当に男女共同参画を進めていくために推進室なりの拠点がいるかどうかの考えを出し合っていきたい。新聞を読むと、男女平等は、日本は世界ランクでまだ101位、幸福度は香川県は全国で41位、女性管理職はなってよかったという意見が52%、そういう中で、男女共同参画をどのように進めていくのか。男女共同参画推進室が欲しいのかどうか、委員がどう考えているのか、そして、その考えたことをどうしていきたいのか話し合えばいいと思います。
委員	男女共同参画プランの中に、男女共同参画推進室は必要です、と書いてある。活動拠点は今のところ、働く婦人の家の中に一室あるのだが、暖房も冷房もなく、具体的

	<p>な資料といえはかつて持ち込んだものが雑然とあるだけ。正直、利用団体の物置部屋となっている部屋が活動拠点である。いろんな団体があっても、活動はバラバラで連携がとれていない。連携して前に進んでいくためにも活動拠点が必要だと思っている。一室ができたばかりの頃は、暑かったら窓を開け、寒かったら自分でストーブを持ちこんで我慢しながら使っていたが、もう我慢の限度を超えた。しかし、あそこを物置にしてしまったのは、市ではなく、活動団体に責任があると思う。また、男女共同参画推進条例を見てみると第4条に推進するための体制整備や財政措置をする市の責務が書かれている。必要な体制として政策課に担当を配置していると思うが、市民とともに推進できるかといえば疑問が残る。財政については、市の厳しい状況から減らされることは当然かもしれないが、かつてに比べて少なくなっているように思う。拠点があれば情報交換できる可能性があるが、それもない。今年度は、さぬき市女性団体連絡会の企画事業がサポーターも加えて周知されたが、連携できているかは疑問が残る。男女共同参画という言葉はいらぬ、という意見もあるが、これが消えれば男性中心の社会に逆戻りする。介護や子育て防災など、いろいろなところでその視点が大事であり、まだまだその必要性を叫んでいかなければならない。今の世の中、日々の暮らしの中で、男女共同参画の視点は絶対に必要なのだ。周りを見ると、男女共同参画都市宣言をする中で室を立ち上げたところもあり、ある自治体では、室がつぶされそうになった時は市民が支えて守った。室を作るなら、絶対に作り、それを守り続ける覚悟が私たち市民にも必要だと思う。</p>
会長	<p>口頭ではなく、書面で依頼することについてはいかがでしょうか。その前に、今すぐ室があるのか、それとも、もう少し気運が高まってから設置を要望するのでもいいのではないかと、いろいろな意見があると思う。今の委員の気持ちを1つにまとめたいと思っています。</p>
委員	<p>プラン策定時と今では、委員は少々変わっているが、推進室の設置は、協議会の総意だったと思う。政府も、男女共同参画や女性活躍を言うわりには具体的には進んでいない。協議会として、行政とともに推進していければいいと思う。</p>
委員	<p>私も、推進室は必要だと思うが、先ほどの意見でもあったようにかなりの覚悟がいると思う。やはり市民が盛り上げないと、形だけができて継続できないと思う。最低でも、ここにいるメンバーが市民に呼びかけて盛り上げていくことが必要で、それができるかどうかと聞かれれば100%できますとは言えないのだが、まずは推進室を作らないといけぬと思う。それから、どういうふうに具体的に私たちが協力できるのかということ話し合えればいいと思う。まずは市に頑張ってもらって室をつくって、みんなで盛り上げて行ければいいと思う。うまくいっていない事例もあるようだが、それを気にしすぎて躊躇しては、絶対に前に向かっては進めない。打ち破っていくためにも室をつくり、それから継続に向けて話し合っていければいいと思います。</p>
委員	<p>私は、このプランに「推進室は必要です」と書いているので、それがすべてだと思います。</p>
委員	<p>男女共同参画推進室があればどういうメリットがあって、どういうデメリットがあるのか、推進室があることで得する人、損する人がいるのか、それぞれの立場にたってディベートして、市を説得するだけの根拠を持っておく必要があると思う。10年以上経って活動団体の熱も冷めてきている感じもするが、政治家は、男女共同参画は</p>

	<p>素晴らしいと言っている。でも、実際は進んでいない。それには理由があるはずだ。我々は、それを探らないといけないと思う。婦人会や食改などで頑張っているのは女性ばかり。選挙でいえば、候補者は男性ばかりで、裏方でがんばっているのは女性だ。源内マラソンも要約筆記も裏方で頑張っているのは女性だ。でも、代表者が集まるとなると男性ばかりが集まる。推進室はほっといてもできるだろうと思う人もいるかもしれないが、そうはならないだろう。女性が連帯すると政治的な力も持つこともあるから政治家は感覚として嫌うのだと思う。そこを打ち破るための話し合いが必要だ。要望書もいいが、覚悟を作るような話し合いが必要だろうし、長い間推進室の設置を言い続けているのになぜできないのかの理由と現状を正式に回答いただくことは協議会として必要だと思う。作ってくれ、だけの要望書ならいらないと思う。</p>
委員	<p>協議会で推進室の設置について議論した経緯や、市長に口頭で要請し、そのときにどのような回答があったのかなどを書面に整理して我々でディベートして、今の時点でやはりどうしても必要なんだということを理由も含めて文面で分かるようにしたほうが良いと思う。推進室が継続するためにこういうことをすることを約束するよ、とか、こういうデメリットもあるけれどもこういうメリットもあるからさぬき市としてそのメリットを伸ばすためには推進室が必要です、と具体的な文面で市にあげていくだけの材料がどれだけあるかといえば、まだまだ材料の整理から必要だと思う。条例を作った時も、何度も何度も会議を重ねて文章を作って市長に提案した。今回もその取組が必要で、急げばできると思います。必要です、必要です、だけではダメだと思います。</p>
会長	<p>来年度に向けた行政の動きに合わせるとすれば、1月くらいまでに意見を出さないといけないと思います。推進室の設置は前々から出ていた意見だ。口頭だけではなく、きちんとした書面がないと意見が通りにくいのかな、もしそれで通らないとしても、なにかしないと1歩も前に進まないのではないかという不安がある。協議会として1歩を踏み出すために何ができるのかということだ。仕事をしている人もいるので、協議会メンバーを何度も何度も集めることは現実として難しいので、3月までに書類をつくることも難しいだろうと思います。用意周到となるように、もっと長いスパンで考えることも1つの案としていいとは思いますが、それでいいのでしょうか。</p>
委員	<p>それであれば、先ほど委員がおっしゃったように、「このプランにこのように書かれています、いまだに設置されていない。私たちはずっと待っている。28年度には設置してください。」と言うことはできると思います。</p>
会長	<p>それは、協議会の総意と整理していいのか。</p>
委員	<p>プランにも書いてあるし、推進室は、ないよりはるほうが良いです。</p>
委員	<p>何か動き出さないと、と思う。少しでも働きかけないといけないと思います。</p>
事務局	<p>男女共同参画推進室をつくるとなると、そこに正規職員を配置することが一般的な対応となります。子育てや介護、人口減少など様々な課題があり、それらにまつわる様々な要望が市民から直接届き、正規職員が減少しているさぬき市において、今、男女共同参画推進室を作って正規職員を配置することが他の何より優先させるべきことなのかという疑問が市内部にあるし、市民の中にも同様な疑問があるかもしれないことを知っておいてほしいと思います。ただ、男女共同参画プランを作ったのは市な</p>

	<p>ので、男女共同参画社会の実現に向けてプランに沿った取組ができているかとか、推進活動が止まっていないか、といったことを総合的に協議する会の委員として、市や市長に対して確認や意見したほうがいいと思うことがあれば取り組んでいただきたいと思います。世の中の流れは男女共同参画推進ですが、本当に推進していくには、市民の力が絶対に必要だと思っています。</p>
委員	<p>1つの例として聞いていただきたいのだが、難聴者に要約筆記を付けるということは、生きるということに深くかかわるものなのだが、個人の趣味として考えられていっこうに進まなかった。しかし、難聴者本人のがんばりで要約筆記が付くことになった。これは全国的にも珍しい、さぬき市の取組となっている。ここで大事なものは、誰が代表者として、今、なぜ、男女共同参画推進室が必要なのかということを経理に対して説明するかだと思ふ。場の作り方によって、ひょっとすると前に進むかもしれないと感じています。</p>
委員	<p>まず、男女共同参画推進協議会を進めていく過程の中で、委員自身が育っていく。その育っていった委員が具体的に推進活動を行うためには、元締めとなる推進室が必要なんだという意識ができて、その実現のためにどうすればいいのかという具体的な手順は、行政内部にいる人でないとわからないと思います。まず、この協議会の中において、推進室がいるのかいないのかということについては、いるという結論。それを上部にあげていくための書類は事務局に作ってもらえばいいと思う。</p>
会長	<p>市長と直接会って、推進室設置のための課題や現状を聞いてみて、その後の対策を考えてみてはどうかとの考えもあるようだが、それについてはどうでしょうか。誰が会いに行くか、ということもありますが。私は全員で行きたいと思っています。</p>
委員	<p>男よりも女の人の代表が必要だと思ふ。特に、婦人会や子育て支援に関するグループの中で男女共同参画は絶対に必要だと思ふ人を選んで一緒に市長と話し合うスタイルにしないと、我々が、今まで協議会として取り組んできた結果として、絶対に推進室は必要なんだと言っただけではかわされるだけだろう。</p>
会長	<p>各女性団体から選ぶということでしょうか。</p>
委員	<p>なかなか来てくれないとは思ふ。本来的な男女共同参画の考えがあるかどうかは分からないし、少しずつ来るかもしれないが、その人たちを説得できないようでは、市全体を預かっている市長を説得することはできないでしょう。</p>
委員	<p>この場で、みんなが推進室を作りたいと思ふことを確認できたのが1つの進歩だと思ふ。それを具体化するために何回か繰り返していかないと、1回だけですぐにやりましょう、と、なるはずはないだろう。だから、要望書を作って、少なくとも会長と副会長が、委員の意見を総まとめにして、委員の名前を連名で書いた要望書をつくって市長に渡してみる。そのときにどのような話があったのか、それを協議会で話し合っただけを考えてみてはどうでしょうか。要望書は事務局に作ってもらう。</p>
事務局	<p>事務局一任の作文では意味がないと思います。もし事務局で作るのであれば、全員の委員にそれぞれの意見を書面で届けていただいて、それを全て取り入れる形で書き上げるしかありません。</p>

委員	<p>男女共同参画推進室に何を期待するのか、室の仕事は何なのか、男女共同参画の推進に向けて室の役割は何なのかについて、私たちが具体的に出しておく必要があると思う。なんのために作るのか、と問われた時に、デメリットも出しながら、それでもメリットの方が多くを伝えないといけないと思う。室を置く所属も、政策課であってほしい旨を理由とともに言い添える必要があると思う。さぬき市の予算はおいといて、こちらとして室には何人の職員が必要だと思っているのかなど、室の設置を要望するのであれば、伝えるかどうかは別として、もっと具体的なデザインを私たちの中で持っておく必要があると思う。それが今はあまりないような気がします。今まで推進してきたことのどこが、担当だけではできなくて、室に持ち上げていないとできなかったのかも含めて、どこかで話し合わないといけないと思います。</p>
委員	<p>まずは、時間をかけて話し合わないといけないということですね。</p>
委員	<p>何月までにそれが必要、と決まれば、役割分担して、それまでに話し合っただけでいくという方法もあると思う。何も無く、プランに書いてあるから、というだけでは説得力がないと思います。</p>
委員	<p>本当に推進室を作ってもらうための要望書なりを作るとなれば、時間をかけて話し合っただけ、その話し合っている中身を事務局で絞って整理をして文書なりを作って、市に出す。だから仮に市長に要望に行くときには、委員の中でどのような話が出ていたかということを持っていないと、ただ行っただけではだめだと思います。そのためには、何回か集まらないといけないと思います。</p>
委員	<p>時間がいると思います。それか、宿題として持ち帰って委員が考えてくる。</p>
委員	<p>男女共同参画室をつくるための協議会というか、お互いの考えを出し合う時間というか会があると思います。</p>
委員	<p>その学習会のときに、さきほど委員がおっしゃっていたいろいろな団体の方にはいつまで待たなければいけないのかと思います。要望書は、男女共同参画推進協議会の会長名で出るとは思いますが。</p>
委員	<p>女性団体連絡会では、毎年1回、市長と話し合う会を持っていて、今年度は、来年1月26日に予定しています。私が所属しているさぬき市友好翼の会では、男女共同参画推進室のことも含めて男女共同参画の推進について話すのですが、それに加わってくれる団体はなかなかいません。だから、その学習会に加わってくれる人を探すことはとても難しいと思います。本当はどの団体も、取組項目の3番目くらいまでに必ず男女共同参画の推進が入っているはずなのだが、具体的なことは行っていなくて、バックアップすることが女性の役割だと思っている感じがする。男女共同参画の思いを繋いでいくためには、男女共同参画推進室を置いて、さぬき市の女性の活躍について意見を出し合う必要がある。だから、なるべく早く市長と話し合う機会を設けて、私たちも、その必要性を、具体的に市民に対してPRができるようにならないといけないと思います。私たちの任期は今年度で終わるので、1つの成果を出せばいいと思います。</p>
委員	<p>1月何日くらいまでが、要望のリミットなのでしょうか。</p>

事務局	室を置くということはとても大きな問題なので、早ければ早い方がいいと思います。
委員	組織構造としては、部・課・室の並びのようだが、話を聞いていると、市民の関心の高い、防災、子育て支援、介護、どれをとっても男女共同参画に深く関わる内容であって、そう考えると男女共同参画部ぐらいを作って、その下に関連付けてもいいくらいだ。男女共同参画推進室となると、縦割り行政になっているから、介護や防災や子育て支援とうまく関連付けができなくて、本来の室の仕事がこなしていきづらくて、今までどおりではないかな、と思います。市民がとても関心が強いことは全て男女共同参画の一部なんだという視点を持てるように、理想だとは思いますが、高い理想を掲げた組織づくりを通して市民に気づいてもらえるようにしてもらいたい。難しいとは思いますが。
委員	男女共同参画を人権の一部と考えるケースも多く、人権推進課の中に室を置いているところもあるようだ。
委員	生活全般に関わるのが男女共同参画のわけだから、市民生活の第一義に掲げてもらいたいものだ。個人的には、男女平等でよかったと思うのに、男女共同参画という回りくどい言葉にしたから真意が分かりづらくなった気がする。
委員	様々な過程を経て、男女共同参画を推進する法律が出来上がった。でも実態はそうでもない。そんな中でより鮮明にどうしていくか、世の中にいる男と女が自分らしく助け合えるような社会をつくるのが男女平等という理念の1つの実現なのだということだと思う。でも、もう男女平等社会になっているじゃないか、と思われていて、でも、社会や家庭で1つ1つの事象を考えていくと、そうでもないな、なんか違うな、ということになっている。だったら男女平等社会でもなんでもないじゃないですか、それでいいんですか？ということなんだと思う。
会長	様々なご意見をありがとうございました。時間も経ってききましたので、少し整理したいと思います。用意周到にして市長に会いに行くか、さしあたって市長に会って、プランに書いていることがなぜできないのかという問題点を聞くというアクションをまず起こしてみるのか、どちらがいいのでしょうか。
委員	行政の組織問題について言及しても、それは行政内部の問題です、とかわされるだろうから、どうしたら推進室ができるのでしょうかね、と市長に問えばいいのではないのでしょうか。
会長	そのときは、用意周到にしておくべきでしょうか。
委員	用意周到というとても難しいし、大変と思うが、話をしていく材料として何かしらを持っておきましょうということだと思います。自分たちが活動をしていく中で、担当の職員だけではなくて、もし推進室があればこのようなこともできるということや室のある自治体の実態も含めたぐらいの話の材料をこちらとして持つておくということだ。そうでないと、市長を説得できないだろう。
委員	今、市で、市民憲章を作る話が出ていると思います。その中に必ず、男女共同参画社会の実現をより飛躍的に推進できるような文言を入れて、市としてバックアップし

	<p>てはどうかということを含めて、組織的なバックアップによる推進活動の成功例と現実到我々が抱えている課題を整理してはどうでしょうか。</p>
会長	<p>まとめるのにどのくらいの時間がかかるのでしょうか。スケジュールをたてないといけない。</p>
委員	<p>勉強して、勉強して、勉強して、になると、すぐに今年が終わってしまいます。</p>
委員	<p>会長がある程度考える文書と、裏付け材料を私たちに渡してほしい。</p>
会長	<p>文書で出すのですか。</p>
委員	<p>文書も持っておかないと、何をしゃべるのかもわからないのでは難しいのではないのでしょうか。会長が出す要望書か何かを作ったうえで、私たちがそれを裏付ける材料を探してくることも可能です。</p>
会長	<p>話に行くのか、要望書を出しに行くのかどちらなのでしょう。</p>
委員	<p>話しに行くのですが、それなりのものでみんなが共通理解を持っておかなければならないと思うのです。こういう方向で話をしようね、という理解。要望書でなくてもいいし、枠組みだけでもいいと思います。</p>
委員	<p>最初に、推進室に対する私たちの期待がどういうものなのかを委員で出してみても、こんなことから言ってみようということと、男女共同参画プランも書いている、男女共同参画推進室は必要です、ということに対して市長は将来的にどういうふうな考えがあるのかについての両方について、意見を聞いてみてはどうでしょうか。プランは市が出しているのも市長もご覧になっているはずだし、だとすれば将来像は持っていると思うので、ご意見番である推進協議会としてもそれがうまく機動するように議論していく必要があると思います。推進室のスタイルはこういうふうで、こんな内容でというような深いところまではいらないと思います。</p>
委員	<p>男女共同参画プランを実行して成果を出していくためには専門の男女共同参画推進室が必要であるということからくるのだが、それをつくるのが、行政の組織運営上プラスなのかどうかという問題が根幹にある。それぞれの部署でやっているのではないかという縦割り組織の中で、専門の室が、それぞれの部署を男女共同参画の視点でつなぐことができれば、より飛躍的な効果が生まれると思う。それを「そうだな」と言ってもらえるかどうかでしょう。以前、「このプランは素晴らしい」と市長はおっしゃっていた。それをより飛躍的、効果的に進めるための方法の1つが推進室の設置であることを私たちが提案すればいいと思います。事務局に聞きますが、女性が輝く地域づくり講演会の後に1時間くらい、市長は時間がとれるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今のところ、予定は入っていないようです。</p>
委員	<p>1月24日の講演会に間に合わせるようにして、我々で話す材料を集めておけばいいのではないのでしょうか。</p>

事務局	例年、講演会の後は、講師と協議会委員で懇談会を持たれていたと思います。今回、講師は公務の都合ですぐに帰らないといけないので、市長との懇談会に変更されるということで日程調整してみましようか。
委員	市長に要望書を渡して話すか、何も渡さずに口頭で、推進室ができていないのはなぜでしょうかというかたちで話すのか、推進室を作ってくださいとお願いするのか。会の当初に私が考えていた方向とは少し違うような気もするが、皆さんの話を聞きながら今思うのは、早く市長に会ってお願いするということが第一だと思います。そうすると時間的な制約がある。それを踏まえると、事務局に日程調整してもらって、まずは早々に市長に会って、口頭で市長にお願いする。そうすれば、市長の考えもわかるし、それを聞いた上で、あらためて文章で出した方がいいのかどうか、口頭でお願いしておくだけでいいのかどうか、まずは市長に会って話してみないとわからない。文章や要望書は次のことにして、まずは会って、プランの推進のためにも推進室を設置してほしい、とお願いしてみてもどうでしょうか。
会長	時間もだいぶ押してきましたのでまとめますが、さしあたって、まずは市長に会うということをして第1歩としてよろしいでしょうか。
委員	会った時にイメージできる資料はほしいです。
会長	市長と話しができるのは1時間くらいまでですよ。
事務局	後で予定を見てみますが、そうだと思います。
会長	時間的なことを考えると、聞きたいことを箇条書きにしてみんなで手元に持っておいて、意見を聞く。そして、それを持ち帰って協議するのはいかがでしょうか。
委員	これから作る市民憲章の中で、男女共同参画社会の実現に関することを1項目は入れるということを前提としてもらうことを約束してもらえればたいしたものだろう。他の自治体にもない憲章ができる。我々が取り組んできたことの集大成としてそれを実現できればいいと思っています。
会長	それはそれで大事だと思いますので取り組んでいただくとして、1月24日に向けてミーティングは必要でしょうか。
委員	ミーティングは必要でしょう。人選も必要でしょうし。
会長	人選となるとハードルがあがりますよね。
委員	この会全体として、市長と、この件について話したことはあるのでしょうか。
委員	全体としてはないです。
委員	プランや条例を作った時に、この会の代表者が市長に提言したことはありますが。
委員	そうであれば、内容が内容だけに行政に期待しにくいという気持ちも心のどこかにあることも踏まえながらも、この会では、推進室を作りたい、プランに合ったことを

	<p>している、という思いは1つになっているのだから、そのことだけをこの会として伝えてみてはどうでしょうか。そして、市長の意見を聞いてからまた考えましょうということでもよろしいのではないのでしょうか。後をどうするかということは、意見を聞いてから考えた方が本当のことが出そうな気がします。それぞれが持っている男女共同参画のイメージは、そろっているようでそろわないのが当然かと思う。ただ、大事なことであるということでは一致しているので、あまり急がないで、言って、聞いて、思ったことを伝えるということでも十分この会としての役割を少し変わったかたちで果たしていくのではないかと、皆さんの話を聞きながら思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、まずは、1月24日の講演会の後に、委員の皆さんで市長と話をする方向で調整してみましよう。その他、事務局から連絡事項はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>特にありません。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で、第3回男女共同参画協議会を閉会します。皆さん、講演会の声かけをお願いします。今日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">＜閉会 15 : 30＞</p>